

隣保館だより

編集 下榎隣保館

〒689-4526 日野町下榎 157 番地 1

電話：72-1191 (FAX 兼)

E-mail：rinpokan@town.hino.tottori.jp

ぽかぽか教室《健康相談》 演題「安心して春を迎えるために必要な備えと定期点検」
講師 鳥取大学医学部地域医療学講座 准教授 浜田紀宏さん

12月8日、老人憩の家（下榎）を会場に、上記の内容で、ぽかぽか教室を開きました。

冬に特に注意が必要な「インフルエンザ」や「肺炎」の症状と予防について、浜田さんに話を聞きました。「肺炎はどの時期でも起こる病気だが、インフルエンザウイルスが肺炎を起こしやすくなるので、この時期は特に注意が必要です」と浜田さん。続けて、「肺炎のサインとして、『食事が入らない / 体がだるい、動きたくない / 体重が落ちてくる / 認知症のような症状がでる』などがあげられる」と注意を促しました。

肺炎予防として、浜田さんは日ごろから心がけることとして、次の4点をあげました。

- ・手洗い（指やつめの間、手の甲、手首などを丁寧に洗う）
- ・うがい（のどの奥の汚れを落とすつもりで）
- ・歯磨き（磨き残しのないように丁寧に磨く）
- ・マスクを着用する（使い捨てのものを使い、顔に密着させてすき間を作らない）

最後に、タバコによる体への悪影響（肺が壊れて使い物にならない。病原体を自分で外に出す力が弱くなる。など）と、日々の体重（元気な時の体重）を知っておき、急激に変動していないかを定期的にチェックすることの大切さを伝えました。



▲健康に過ごすため、浜田さんの話に熱心に聞き入る参加者



▲みんなでわいわい楽しく調理♪

中学生が小学生を優しく指導しているほほえましい光景もみられ、和やかな交流会となりました。

中学生が小学生を優しく指導しているほほえましい光景もみられ、和やかな交流会となりました。

中学生が小学生を優しく指導しているほほえましい光景もみられ、和やかな交流会となりました。

中学生が小学生を優しく指導しているほほえましい光景もみられ、和やかな交流会となりました。

中学生が小学生を優しく指導しているほほえましい光景もみられ、和やかな交流会となりました。

小・中学生交流学習会

《榎の実学習会》

12月20日、下榎集会所で榎の実学習会の子どもたちが、交流会を開きました。交流会の企画は中学生が担当しました。

今年は、小・中学校ともに学習会が火曜日開催になり、地域の人から学ぶ地域学習で小・中学生が一緒に学ぶ機会が多くなりました。今回は、冬休み前の交流会として、小・中混合の班に分かれ、焼きそばを作りました。子どもたちは、上手に野菜などの具材をカットし、手際よく仕上げていました。焼きそばができる

と、「おいし」「味が薄い」などと、いろいろ話しながら楽しく会食をしました。

そして、じゃんけんゲームで楽しんだ後は、みんなで感想を一言ずつ発表して閉会しました。

中学生が小学生を優しく指導しているほほえましい光景もみられ、和やかな交流会となりました。

中学生が小学生を優しく指導しているほほえましい光景もみられ、和やかな交流会となりました。

中学生が小学生を優しく指導しているほほえましい光景もみられ、和やかな交流会となりました。

中学生が小学生を優しく指導しているほほえましい光景もみられ、和やかな交流会となりました。

中学生が小学生を優しく指導しているほほえましい光景もみられ、和やかな交流会となりました。

2月の行事予定

- ◆ぽかぽかりハビリ 日時：2月 2日（木）13：30～15：00 / 場所：老人憩の家
- ◆榎の実学習会閉講式 日時：2月 7日（火）17：00～ / 場所：下榎集会所
- ◆健康教室 日時：2月 8日（水）10：00～11：30 / 場所：老人憩の家
- ◆生け花（草月流） 日時：2月18日（土）13：30～16：00 / 場所：下榎集会所
- ◆よってみよい家 日時：2月22日（水）10：00～11：30 / 場所：老人憩の家
- ◆手芸 日程・内容調整中…お楽しみに！

※どなたでも参加できます。お問い合わせは下榎隣保館まで

シリーズ5回目は、同計画が目指す目標の1つ「次代を担う人づくり」(つづき)について紹介します。

目標2：次代を担う人づくり「子ども15年プラン(第Ⅱ期)」

～「生きる力」を育む保育、学校教育の推進【保小中一貫教育】～

教育目標 「心豊かに たくましく羽ばたく 日野の子の育成」

- めざす子ども像
- 確かな学力をつけた子ども(自ら学ぶ力)
 - 豊かな人間性を身につけた子ども(ともに育つ力)
 - 健康で元気な子ども(たくましく生きる力)

<取組方策2-6 保小中連携の推進>

(1) 子育て支援の充実

- 子育て支援事業の適切な運用 ○子育て支援室の充実

(2) 就学支援の充実

- 乳幼児健診、就学時健診結果を活かした就学支援 ○連絡会議の開催
○支援を要する家庭や子どもへの支援

図書館からのおはなし会(おひさまひろば) ▶



(3) 特別支援教育の推進

- 保育所、学校における特別支援教育推進体制の整備と取組の充実 ○個別の指導計画及び個別の教育支援計画の作成、活用と引き継ぎ ○啓発活動の実施

(4) 小1プロブレムの解消

- 「アプローチカリキュラム」「スタートカリキュラム」の実践 ○保小連携事業、体験入学の実施 ○長期社会体験研修の実施 ○保育所、小学校への児童支援員の配置

(5) 小小連携の充実

- 系統性のある小小連携事業の実施 ○TT指導による理科学習の充実
※TT(チームティーチング)…複数の教師が協力し授業を行う指導方法

(6) 中1ギャップの解消と小中一貫教育の推進

- 小中学校教員のTTによる交流授業の実施 ○ほこすぎ教室での交流授業の実施 ○小中一貫教育の実施(「各教科小中一貫カリキュラム」平成32年度末策定予定)



▲学習発表会などで確かな学力をつける

(7) 組織連携の強化

- 教育行政連絡会議等での情報共有の促進 ○健康福祉課(健康福祉センター、要対協)、県教委等との連携強化

<取組方策2-7 保育士、教員の資質の向上>

(1) 教職員研修の充実

- 全教職員対象の研修会の開催 ○新任教職員対象の現地学習会の実施 ○保育参加の実施

(2) 校(所)内研修の充実

- 保育所や学校の校(所)内研修の充実 ○小小合同授業研究会の実施 ○異校種授業公開、授業研究会への参加 ○校(所)内研修への外部講師の招へい